

図書館だより 1月号

今年もいろいろな「夢」をみよう 謹賀新年

新しい年の幕開けです。図書館では、今年も楽しくて、皆さんのためになるような本を用意してお待ちしています。よろしくお祈りします。

皆さん、今年の初夢はどんな夢を見ましたか？「夢」という言葉には、睡眠中に見る夢、実現させたい目標、空想や楽しい考えなど、いろいろな意味があります。「一年の計は元旦にあり」という言葉があるように、1月は、1年の計画を立てるのにピッタリな時期です。本を読んで、いろいろな夢に触れてみましょう。今月は「夢」に関する本を紹介します。

「新書」ってなに？ 新しい本ではありません！



「新書」とは「本のサイズ」を指す言葉です。比較的気軽に読める内容の読み物を集めた叢書(シリーズ)です。ちなみに新しく出版される本は「新刊」と呼びます。

新書は、様々な専門分野の入門書として刊行されることが多く、ジュニア版は特に中高生向きに作られています。将来勉強したい分野を見つけるきっかけになるかもしれません。新しい年の始まりに、ぜひ「新書」を手にとってみてください。

参考:『日本国語大辞典』(小学館)

『夢十夜』

(分類:913/な)夏目漱石/著 パロル舎/出版



「こんな夢を見た。」で始まる夏目漱石の幻想的な短編集。死んでしまった美しい女と百年後に会う約束をする第一夜、侍と僧の禅問答を描く第二夜…。十の不思議で奇妙な夢を体験できます。



『夢はどうしてかなわないの?』(分類:159)

大野正人/作 中川学/絵 出口保行/監修 汐文社/出版



夢の世界でまわっているもの。それはおそろしい悪魔たち。でも、悪魔とのたたかいで手に入るもの。それは、あなたにとって一生のたからもの…。ものごとの「本質」をとらえ、自分で考える「こころ」を育む本。



『平安女子の楽しい!生活』

(分類:910)川村裕子/著 岩波書店/出版

岩波ジュニア新書



おしゃれに恋バナ、占いや進路…。平安時代の女子たちも、現代の女子と同じように、楽しみ、悩みながら生きていた。古典を読むのに必要な、インテリア&ファッション用語、恋のお作法の基本について解説する。



『アインシュタイン 16歳の夢』(分類:289)

戸田盛和/著 岩波書店/出版

岩波ジュニア新書



「光速で光を追いかけたらどう見えるだろう」。アインシュタインが16歳のときに抱いた疑問が、世紀の大発見「相対性理論」へと繋がる経緯を解説しています。

イベント「としよかんおみくじ」

「原外おみくじ」をリニューアルしました。

今回のおみくじは、持ち帰っても

「おみくじ結び処」に結んでもOKです☺

年の初めの運試しに来てください。

今月の特集展示

- 夢に関する本
- 日本の伝統文化
- おすすめの新書
- 巳年